



Vol.200 2022.4

通信ワン・ツ



いっほ

サ会員の皆さんと
サポートを結ぶ
ネット
ホッケー



生活サポートハウス いっほ

(運営) 社会福祉法人新座市障害者を守る会

〒352-0012 新座市畑中 1-5-37

TEL・FAX 048-478-7115

携帯 090-1662-8648

E-Mail ippo@niiza-mamorukai.org

守る会 HP <https://niiza-mamorukai.org>

令和4年度は「アフターコロナ」？「with コロナ」？

記吉井

新型コロナウイルス感染対策を始めて2年が経過し、3年目の春を迎えます。新規の感染者数の推移により、いっぽでの過ごしの人調整や、場合によっては、臨時休所とさせていただき、何とかいっぽ内でのパンデミックは避けることができた2年間でした。利用していただくみなさんと、スタッフの協力あってのことと感謝しております。

また、長年、主に送迎を担っていただいていた菊地サポーターが3月で引退されます。有償運送の資格を取得していただいた方しか送迎業務をお願いできないことから、「もうちょっと・・・もうちょっと・・・」と無理なお願いを快く引き受けてくださいました。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、皆さんの関心事と言えば、①外出（買い物や公共交通機関の利用等）や外食の依頼はいつ頃から出来るのか。②月曜日はそろそろ営業再開するのかしら。この2つが一番多いお声かかと思えます。①のご依頼の内容調整は、感染状況やご本人の体調等を踏まえて調整しています。明確に再開時期を決めることは現時点ではできませんが、スタッフの安全も確保しつつ慎重に決めさせていただいています。まずはスタッフにお声掛けください。②についてですが、今年度は、引き続き月曜定休を続けさせていただきます。新規の感染者数が減少傾向にある現在も、日々感染の疑いによるキャンセルの連絡や、感染者との接触による、スタッフ、その他の利用者の方への連絡調整で緊張度の高い業務となっています。アフターコロナに向けて、利用時の充実感アップと、いっぽスタッフの「ライフ・ワーク・バランス」についても整えていきたいと考えています。引き続きご協力を宜しく申し上げます。

卒業おめでとう！

春は多くの方が新しい生活を始める季節ですね。いっぽの学生サポーターさんにも、学校を卒業し、次の生活がスタートする方がいます。少し寂しいですが、おめでたい事ですね！これからも新しい場所で頑張ってください！

●小野寺瞳さん

3月でサポーターを卒業します十文字女子大学の小野寺瞳です。

私は大学2年から、サポーターをさせて頂いていました。最初は実習にも行ったことがなく、分からないことばかりで、毎回緊張していました。しかし、職員の方が一つ一つ教えてくださったり、利用者の方と過ごしたりする中で、少しずつ緊張も解け、4年になってからは国家試験の勉強の合間に、いっぽで利用者の方と過ごすことが楽しみになりました。

4月からは、練馬区の児童養護施設で働きますが、いっぽで学んだことや経験を活かして頑張ります。約3年間ありがとうございました。

●中澤百恵さん

昨年の秋頃から先月までお世話になりました、中澤です。

いっぽで過ごした時間は約半年と短い間でしたが、沢山の事を学ばせて頂きました。

右も左も分からなかった私は、いっぽの皆さんと仲良くなれるか不安な気持ちや緊張で心がいっぱいでしたが、皆さんが暖かく、優しく受け入れて下さったおかげで、とても楽しい思い出が沢山出来ました。

いっぽに来ることが出来て、皆さんと出逢えて本当に良かったです。

ありがとうございました！



【重要】★いっぽからのお知らせ①★

① 4月1日以降、初回利用の前に、 生活サポートの「利用者票」を確認させてください。

「生活サポート事業」を利用する際に必要な、令和4年度の「利用者票」はお手元に届きましたでしょうか？

届いた方は、いっぽに【利用者票】または【利用者票の表紙のコピー】の提出をお願いします。

利用者票は新しい利用者番号と負担額を確認し次第お返しします。まだ手続きをされていない方は「いっぽ」を利用できませんので、早急に「障がい者福祉課」で申請手続きを行ってください。



② 精神保健手帳をお持ちの方へ(新座市からお知らせ)。

生活サポート事業の利用対象の1つが「精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方」です。

この手帳は有効期限があり、期限切れの方は生活サポート利用の対象外となることがあります。

新年度の生活サポートの『利用者票』とともに、上記手帳をお持ちの方はお手元にある手帳のコピーの提出もお願い致します。

